

## 健康科学科

### 大澤 功

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.わが国における糖尿病運動療法の実施状況(第2報)－患者側への質問紙全国調査成績－.	共著	2015年11月	糖尿病. 58巻11号	佐藤祐造, 曾根博仁, 小林 正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木 進, 牧田 茂, 大澤 功, 田村好史, 渡邊智之	pp.850－859
2.第6回 研究を実施するにあたっての倫理的問題. 連載 学校保健の研究力を高めるII.	単著	2016年2月	学校保健研究. 57巻6号	大澤 功	pp.334－338
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.事故防止のための健康管理.	講義	2015年10月	愛知県トラック協会物流安全管理士講座, みよし	大澤 功	
2.ストレスの考え方と評価法.	講義	2015年11月	平成27年度健康運動指導士養成講習会, 大阪	大澤 功	
3.女子大学生へのリプロダクティブ教育～妊孕能についての教育の効果～.	学会 発表	2015年11月	日本学校保健学会第62回学術大会, 岡山	糠谷敬子, 後藤真紀, 外ノ池隆史, 森山恭子, 宇野智子, 北村洋子, 岩瀬 明, 大澤 功	
4.健康科学科における人材育成と将来像.	シン ポジ スト	2016年2月	平成27年度心身科学研究所シンポジウム, 日進	大澤 功	
5.歯周病治療による糖尿病の改善.	座長	2016年2月	平成27年度愛知県医師会糖尿病対策推進会議学術講演会, 名古屋	大澤 功	
6.健康起因事故防止対策.	講義	2016年4月	愛知県トラック協会物流管理者安全研修, みよし	大澤 功	
7.健康起因事故防止対策.	講義	2016年8月	愛知県トラック協会物流安全管理士講座, みよし	大澤 功	
8.保健体育授業における保健・医療制度のカリキュラムに求められる事項－医療における苦情相談内容と学習指導要領・教科書の比較から－.	学会 発表	2016年9月	第59回東海学校保健学会, 静岡	加藤 憲, 脇之蘭真理, 田中滉至, 山田浩平, 勝山貴美子, 大澤 功	
9.わがまちの健康づくりを考える－健康な人づくり・まちづくり・職場づくり－.	講演	2016年9月	平成28年度第1回いきいき健康プランにっしん21ワーキンググループ研究会健康講話, 日進	大澤 功	
10.健康起因事故防止対策.	講義	2016年9月	愛知県トラック協会物流管理者安全研修, みよし	大澤 功	
11.大学生の朝食欠食の実態と欠食に関連する要因の検討.	学会 発表	2016年9月	第63回日本栄養改善学会学術総会, 青森	井澤幸子, 大澤 功, 外ノ池隆史, 糠谷敬子, 森山恭子	

## 城戸裕子

A (著書)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
2017社会福祉士国試対策 過去問題集 専門科目編2016	共著	2016年5月	福祉教育カレッジ 医学評論社	城戸裕子 他	pp.146 - 171
2016社会福祉士全国統一模擬試験 解説書	共著	2015年10月	(株)テコム 福祉教育カレッジ	城戸裕子 他	pp.192 - 207
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
看護実習で学びを引き出す看護実習要項の 在り方 ～養護教諭養成課程における看護実習の効 果的な学びを目指して～	学会 発表	2015年10月	日本養護教諭養成教育 学会 (熊本県 くまもと森都 心プラザ)	城戸裕子	
終末期における医療のあり方	講演	2016年9月	かすがい熟年大学 (春日井市)	城戸裕子	

## 齊藤 満

B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.運動時の呼吸リズム観察への新しい呼吸 モニターの応用	共著	2015年12月	愛知学院大学論叢 心 身科学部紀要 11号	齊藤 満, 佐々木実, 水藤弘吏	pp.111 - 121
2.マラソン記録を読む - 高齢者マラソン の生理学的意義 -	単著	2016年3月	心身科学 8巻1号	齊藤 満	pp.79 - 87
3.Responses of sex steroid hormones to different intensities of exercise in endurance athletes	共著	2016年3月	Exp Physiol 101.1	Katayama K, Ishida K, Saito M, Koike T, and Ogoh S	pp.168 - 175
4.Hypoxia attenuates cardiopulmonary reflex control of sympathetic nerve activity during mild dynamic leg exercise	共著	2016年9月	Exp Physiol 101.3	Sato K, Iemitsu M, Katayama K, Ishida K, Kanao Y, and Saito M	pp.377 - 386
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1.実践セミナー：若さを保つ運動の進め方	講義 と実 技	2015年 12月10日	名古屋市 天白スポー ツセンター	齊藤 満	
2.健康ランニング入門	講義 と実 技	2016年 1月9日、 1月22日、 2月6日 3回シリーズ	平成25年度 愛知県口 論義公園、愛知学院大 学 ～協働事業～ 愛 知学院大学および口論 義運動公園	齊藤 満	
3.実践セミナー：若さを保つ運動の進め方	講義 と実 技	2016年 2月26日	名古屋市 東スポーツ センター	齊藤 満	
4.傾斜クッションによる姿勢への影響およ び運動時の効果について	口頭 発表	2016年 8月26日	日本体育学会第67回大 会 大阪体育大学 大 阪府	荒深裕規、長崎 大、 齊藤 満	
5.運動と自律神経 - 運動における交感神 経活動の変化 -	特別 講演	2016年 9月22日	第30回呼吸研究会、運 動と循環研究会合同研 究会 盛岡市	齊藤 満	
6.神経・感覚	座長	2016年 9月24日	第71回日本体力医学会 大会 盛岡市	齊藤 満	

下村淳子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.健康診断	単	2016年1月	東山書房, 養護教諭の ための現代の教育ニ ズに対応した養護学概 論-理論と実践-		pp.153-162
2.保健室の現状と課題	単	2016年4月	東山書房, スキルアッ プ養護教諭の実践力 養護教諭・保健室の5 S+S		pp.29-34
3.保健室に求められる機能の「5S+S」と は	単	2016年4月	東山書房, スキルアッ プ養護教諭の実践力 養護教諭・保健室の5 S+S		pp.35-94
4.保健室の5S+S Q&A	単	2016年4月	東山書房, スキルアッ プ養護教諭の実践力 養護教諭・保健室の5 S+S		pp.139-146
5.養護教諭へのメッセージ	単	2016年4月	東山書房, スキルアッ プ養護教諭の実践力 養護教諭・保健室の5 S+S		pp.149
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.健康相談において「観る」「触れる」ことの 意義-養護教諭としての実践と研究成果を もとに-	単	2016年3月	日本健康相談活動学会 誌11(1)		pp.68-70
2.小学校における養護教諭の保健だより作 成の実態	共	2016年3月	静岡大学教育学部研究 報告(人文・社会・自 然科学篇)66	鎌塚優子, 林 典子, 鈴木恵子, 下村淳子, 井澤昌子	pp.225-238
3.退職養護教諭を活用した新規採用養護教 諭研修の課題-教育委員会の研修担当者対 象の調査結果をもとに-	共	2016年4月	心身科学8(1)	下村淳子, 林 典子	pp.1-8
4.Fieldwork study of a Yogo teacher's responsiveness to students in a school health room - A comparison of student-teacher's interactions in Japanese elementary and junior high school-	共	2016年7月	17th European Conference on Developmental Psychology 17th European Conference on Developmental Psychology	Sueko Toda, Noriko Hayashi, Junko Shimomura	pp.185-188
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.養護教諭の行う健康相談-今,あらため て普段の実践を見直す-	講師	2015年12月	平成27年度愛知県立新 規採用養護教諭研修 会, 東郷町		
2.組織マネジメントと保健室経営	講師	2016年8月	平成28年度愛知県立学 校養護教諭10年経験者 研修, 名古屋		
3.小中学生の睡眠時間・環境が授業中の眠 気に及ぼす影響	学会 発表	2016年9月	第59回東海学校保健学 会, 静岡	野久千華, 下村淳子	
4.岡崎市教育研究大会【学校保健】分科会	指導 助言	2016年9月	岡崎市教育研究会, 岡 崎		

## 水藤弘史

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.弓道の立射における筋電図の活動について	共著	2016年1月	スポーツ医・科学研究 MIE. 23巻	杉田正明, 水藤弘史, 八木規夫, 伊藤紀美子	pp.11 - 18
2.弓道の立射における上肢姿勢と矢の速度・投射角度について	共著	2016年1月	スポーツ医・科学研究 MIE. 23巻	水藤弘史, 杉田正明, 伊藤紀美子	pp.19 - 21
3.A quantitative evaluation of the high elbow technique in front crawl.	共著	2016年8月	Journal of Sports Sciences (print)	Hiroshi Suito, Hiroyuki Nunome, Yasuo Ikegami	pp.1466 - 1477
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.運動時の呼吸リズム観察への新しい呼吸モニターの応用	共著	2015年11月	愛知学院大学心身科学 部紀要, (11)	齊藤 満, 佐々木実, 水藤弘史	pp.42 - 43
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.4泳法における100m種目の競技記録とスタート, ストローク, ターン, フィニッシュ局面との関係	学会 発表	2015年11月	第28回日本トレーニング 科学学会大会, 鹿児島	水藤弘史, 池上康男	
2.天然芝と各種ロングパイル人工芝がジグザグ走の足部挙動に与える影響	学会 発表	2016年3月	日本フットボール学会 13th Congress, 東京	布日寛幸, 伊賀崇人, 水藤弘史, 羽嶋宏治, 堀尾孝志, 山條佑樹	
3.エリート小学生春季合宿 講習会	講師	2016年4月	エリート小学生合宿に おける科学サポート事 業講師(富山県)	水藤弘史	
4.競泳キックスタートにおける力の測定 手部、足部分離型力量計による測定	学会 発表	2016年8月	日本体育学会第67回大 会, 大阪	尾関一将, 水藤弘史, 浦田達也, 野村照夫, 桜井伸二	
5.運動間における筋疲労の回復方法の比較	学会 発表	2016年9月	第71回日本体力医学 会, 岩手	片岡佑衣, 水藤弘史, 寺本圭輔	
6.女子競泳選手における前後脚の違いがキックスタートのパフォーマンスに与える影響	学会 発表	2016年9月	第71回日本体力医学 会, 岩手	水藤弘史, 尾関一将, 池上康男	

## 辰巳 寛

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.Japanese Adaptation of the Stroke and Aphasia Quality of Life Scale - 39 (SAQOL - 39): Comparative Study among Different Types of Aphasia	共著	2015年11月	J Stroke Cerebrovasc Dis 24(11)	Akane Kamiya, Kentaro Kamiya, Hiroshi Tatsumi, Makihiko Suzuki, Satoshi Horiguchi	pp.2561 - 2564
2.Relationships among communication self - efficacy, communication burden, and the mental health of the families of persons with aphasia	共著	2016年1月	J Stroke Cerebrovasc Dis 25(1)	Hiroshi Tatsumi, Shutaro Nakaaki, Masayuki Satoh, Masahiko Yamamoto, Naohito Chino, Kazuo Hadano	pp.197 - 205
3.誤嚥性肺炎における嚥下造影検査の定量的・定性的解析	共著	2016年3月	心身科学 8(1)	野村麻優子, 牧野日和, 町田祐子, 田中誠也, 高津 淳, 古川博雄, 早川純子, 辰巳 寛, 山本正彦	pp.27 - 41

4. Pure agraphia after infarction in the superior and middle portions of the left precentral gyrus: Dissociation between Kanji and Kana	共著	2016年4月	Journal of Clinical Neuroscience. 26	Yoshiko Kurosaki, Ryusaku Hashimoto, Hiroshi Tatsumi, Kazuo Hadano	pp.150 - 152
5. メディカル・スタッフのための失語症の理解度評価尺度 Aphasia Knowledge Test - 20の開発	共著	2016年10月	総合リハビリテーション 44(10)	辰巳 寛, 仲秋秀太郎, 佐藤正之, 前島伸一郎, 山本正彦	印刷中
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 失語症の診断と治療	講演会	2015年11月	日本神経治療学会大33回学術大会(名古屋)	辰巳 寛, 山本正彦	
2. 失語症に関するメディカルスタッフの理解度と課題	学会発表	2015年11月	日本神経治療学会第33回学術大会(名古屋)	辰巳 寛, 仲秋秀太郎, 佐藤正之, 山本正彦	
3. 小脳病変にて失語症状が発現した1例	学会発表	2015年11月	日本神経治療学会第33回学術大会(名古屋)	松下尚子, 細江浩典, 辰巳 寛, 山本正彦, 山口純矢	
4. 前頭葉損傷者の内受容感覚に関する比較検討	学会発表	2015年11月	日本神経治療学会第33回学術大会(名古屋)	黒崎芳子, 辰巳 寛, 山本正彦	
5. CI療法による言語治療と積極的な自主訓練により著明な改善を認めた末梢性顔面神経麻痺の1症例	学会発表	2015年11月	日本神経治療学会第33回学術大会(名古屋)	甘利秋月, 辰巳 寛, 長縄敏毅, 長縄伸幸, 山本正彦	
6. 遂行機能に対する新しい訓練教材の開発	学会発表	2015年11月	日本神経治療学会第33回学術大会(名古屋)	森 玲子, 辰巳 寛	
7. PCAを呈したAlzheimer型認知症に対する言語療法の実践と課題	学会発表	2015年11月	日本神経治療学会第33回学術大会(名古屋)	三宅達也, 細江浩典, 安井敬三, 宮崎真理, 辰巳 寛, 山本正彦	
8. 前脳基底部損傷により記憶障害, 作話を呈した症例	学会発表	2016年2月	日赤 ST リハビリテーション研究会第3回(名古屋)	勝野由大, 三宅達也, 金森薫子, 辰巳 寛	
9. 前頭葉性超皮質性感覚失語における語義障害について	学会発表	2016年4月	失語・高次脳機能障害症例検討会第4回(三重)	金森薫子, 辰巳 寛	
10. 左外傷性くも膜下出血により仮名優位の音韻性錯書を呈した1例	学会発表	2016年4月	日赤 ST リハビリテーション研究会第4回(名古屋)	山田 愛, 三宅達也, 辰巳 寛	
11. 亜急性小脳変性症により失調性構音障害を呈した症例	学会発表	2016年4月	日赤 ST リハビリテーション研究会第4回(名古屋)	勝野由大, 三宅達也, 金森薫子, 辰巳 寛	
12. 意味カテゴリー特異的傾向のある語義理解障害を呈した前頭葉性超皮質性感覚失語の1例	学会発表	2016年6月	愛知県言語聴覚士協会第11回学術集会(名古屋)	金森薫子, 辰巳 寛, 宮嶋真理	
13. 前脳基底部健忘に対するリハビリテーション多職種連携の実践と介入効果について	学会発表	2016年6月	愛知県言語聴覚士協会第11回学術集会(名古屋)	勝野由大, 三宅達也, 辰巳 寛, 高須俊太郎	
14. 孤立性失書を認めた筋萎縮性側索硬化症の1例	学会発表	2016年8月	日赤 ST リハビリテーション研究会第5回(名古屋)	三宅達也, 辰巳 寛	
15. 急性期病院におけるミールラウンドの取り組みについて	学会発表	2016年9月	日本嚥下摂食リハビリテーション学会第22回学術大会(新潟)	宇佐美康子, 平原さやか, 野中知子, 山田真実, 甲村亮二, 勝野由大, 辰巳 寛, 宮川 慶	
16. 脳梁損傷後に後天性吃音症候群を呈した1例	学会発表	2016年9月	東海 ST 合同リハビリテーション・カンファレンス第9回(名古屋)	金森薫子, 三宅達也, 辰巳 寛	

## 玉川達雄

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
アルコール・熱中症の対策	講習会	2016年6月	平成28年度学生のための安全管理講習会	玉川達雄	

## 外ノ池隆史

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
これからの精神科医療		2016年2月	平成27年度愛知学院大学心身科学研究所シンポジウム	単	
「こころを病む人々と共に生きる」		2016年5月	2016年度愛知学院大学春季公開講座		

## 内藤正和

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
伝統芸能の伝承に関する一考察: 東ジャワのREYOG PONOROGOを事例として	共著	2016年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要8(1)	内藤正和, 松本真咲	pp.67-77
総合型地域スポーツクラブの現状: 新潟県を事例として	共著	2016年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要8(1)	内藤正和, 田中宏和	pp.57-65
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
スポーツを活用したまちづくり-ネットワーク形成を視点に-	研究発表	2015年11月	第107回同志社スポーツ政策フォーラム(同志社大学)	内藤正和	
スポーツを活用したまちづくり-ネットワークの構築に向けて-	学会発表	2015年12月	日本体育・スポーツ政策学会第25回大会(東京学芸大学)	内藤正和, 横山勝彦	

## 長崎 大

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
A Comparison between Alpine Skiing, Cross-Country Skiing and Indoor Cycling on Cardiorespiratory and Metabolic Response	共著	2016年2月	Journal of Sports Science and Medicine, 15	Thomas Stöggel, Christoph Schwarzl, Edith E. Müller, Masaru Nagasaki, Julia Stöggel, Peter Scheiber, Martin Schönfelder, Josef Niebauer	pp.184-195
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
シニアのための健康エクササイズ~筋肉づくり運動~, こころとからだの科学, “健康寿命を延ばす6つの知恵”	運動指導	2015年11月	平成27年度なごや健康カレッジ, 名古屋市	長崎 大	
傾斜クッションによる姿勢への影響および日運動時の効果について	学会発表	2016年8月	日本体育学会第67回大会, 大阪	荒深裕規, 長崎 大, 齊藤 満	
保健体育の授業力	模擬授業	2016年9月	愛知高校生のためのオープンキャンパス	長崎 大, 向井菜那, 杉浦大介, 関 愛里	

## 西田 保

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.ゴルフ心理学	講義	2015年12月	2015年度PGA入会セミナー, 東京	西田 保	
2.ゴルフ心理学	講義	2016年1月	2016年PGAティーチングプロB級講習会, 掛川	西田 保	
3	主催、世話人	2016年6月	第14回スポーツ動機づけ研究会, 名古屋	西田 保	
4.アスリート・バーンアウトとアスリート・エンゲージメントの関連	口頭発表司会	2016年6月	第14回スポーツ動機づけ研究会, 名古屋	上村 明	
5.エキスパートの動機づけ	口頭発表司会	2016年6月	第14回スポーツ動機づけ研究会, 名古屋	北村勝朗	
6.運動部活動の中で社会的一体感をどのように体験するのか-高等学校女子バスケットボール選手を対象とした質的分析-	学会発表	2016年8月	日本教育心理学会第58回総会, 高松	北村勝朗, 西田 保	

## 早川 統子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
PERCEPTION OF CLEFT PALATE SPEECH BY NAÏVE LISTENERS - SPEECH INTELIGIBILITY TEST AND VARIATIONS IN SPEECH SPEED -	共著	2015年12月	The Aichi Gakuin Journal of Dental Science, 28	Hiyori Makino, Toko Hayakawa, Nagato Natsume	pp.1 - 10
FACTORS OF PARTICLE EXPRESSION THAT AFFECT LISTENERS PERCEPTION OF CLEFT PALATE SPEECH	共著	2015年12月	The Aichi Gakuin Journal of Dental Science, 28	Yoshiko Aihara, Toko Hayakawa, Maya Ono, Ryohei Matsukawa, Chisato Sakuma, Yumiko Morita, Chisako Inoue, Hoyori Makino, Naoki Saito, Kazuo Katayama, Naohito Chino, and Nagato Natsume	pp.45 - 54
高齢者における口腔乾燥の主観的・客観的評価と嚥下機能に関する調査	共著	2016年3月	日本口腔ケア学会雑誌, 第10巻1号	井村英人, 牧野日和, 鈴木 聡, 鈴木俊夫, 早川統子, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 森 明弘, 佐久間千里, 坂野恭子, 夏目長門	pp.156 - 160
誤嚥性肺炎における嚥下造影検査の定量的・定性的解析	共著	2016年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要, 8巻	野村麻優子, 牧野日和, 町田祐子, 田中誠也, 高津 淳, 古川博雄, 早川統子, 辰巳 寛, 山本正彦	pp.27 - 41
顎裂内に脂肪腫を認めた1例	共著	2016年4月	日本口蓋裂学会雑誌, 43巻1号	井村英人, 古川博雄, 久保勝俊, 新美照幸, 早川統子, 佐久間千里, 前田初彦, 夏目長門	pp.51 - 55

Hotz 床装着により呼吸障害が改善された口唇口蓋裂を伴う21Trisomyの1例	共著	2016年4月	日本口蓋裂学会雑誌, 43巻1号	佐久間千里, 井村英人, 新美照幸, 森田幸子, 早川統子, 夏目長門	pp.56-60
22q11.2欠失症候群(Velo-Cardio-Facial症候群)患者の合併症・言語症状に関する報告	共著	2016年6月	愛知学院大学歯学会誌, 54巻2号	早川統子, 山内楓子, 井村英人, 森 明弘, 佐久間知里, 大野磨弥, 藤原久美子, 山本正彦, 古川博雄, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 牧野日和, 鈴木 聡, 新美照幸, 南 克浩, 夏目長門	pp.71-77
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
口腔先天異常疾患に起因する言語障害に対する遠隔言語訓練の効果	学会発表	2015年10月	第27回日本小児口腔外科学会学術大会(宮崎)	早川統子, 山内楓子, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 夏目長門	
小児口腔疾患患者の新たな言語訓練方法 母親の満足・期待に関する調査結果	学会発表	2015年10月	第27回日本小児口腔外科学会学術大会(宮崎)	早川統子, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 夏目長門	
未手術粘膜下口蓋裂症例の臨床的研究 第4報 - 言語訓練について -	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会学術集会(大阪)	早川統子, 森 智子, 井村英人, 井上知佐子, 相原喜子, 坂野恭子, 大野磨弥, 佐久間千里, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門	
発展途上国における言語評価ならびに技術移転に関する研究 第一報 - ベトナム社会主義共和国での言語評価 -	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会学術集会(大阪)	早川統子, 大野磨弥, 新美照幸, 山内楓子, 井村英人, 佐久間千里, 笹栗正明, 土生 学, 夏目長門	
遠隔言語訓練による口蓋裂言語への言語訓練 第6報 - ビデオ通話アプリを用いた訓練実施を通して -	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会学術集会(大阪)	早川統子, 山内楓子, 井上知佐子, 相原喜子, 井村英人, 南 克浩, 牧野日和, 夏目長門	
言語聴覚士による聴覚判定と各種検査の判定結果との一致に関する研究 第2報 - 聴覚評価の信頼性の分析 -	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会学術集会(大阪)	早川統子, 坂野恭子, 齋藤直樹, 新美照幸, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 井村英人, 夏目長門	
Telepractice for Cleft Palate Speech	学会発表	2016年6月	Canadian Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, 2016 Annual conference, Halifax, Canada	Toko Hayakawa	
多種のビデオ通話アプリを試用した口蓋裂言語に対する遠隔言語訓練	学会発表	2016年6月	第17回 日本言語聴覚確学会(京都)	早川統子, 牧野日和, 井上知佐子, 相原喜子, 山内楓子, 山本正彦, 夏目長門	
子どもたちのことばの未来をつくる Superman たちへ	講演会	2016年7月	愛知学院大学歯学部病理学講座同門会	早川統子	
Telepractice による構音訓練 ~ 汎用ビデオチャットシステムを用いて ~	講演会	2016年9月	愛知県言語聴覚士会小児専門研修会	早川統子	



口腔先天異常を伴う患者への遠隔言語訓練 - 複数のビデオ通話アプリを用いた訓練 実施を通して -	学会 発表	2016年7月	第56回日本先天異常学 会(姫路)	早川統子, 山内楓子, 井上知佐子, 相原喜子, 森 智子, 井村英人, 佐久間千里, 大野磨弥, 森 明弘, 山本正彦, 古川博雄, 牧野日和, 新美照幸, 南 克浩, 夏目長門	
--	----------	---------	----------------------	---	--

## 古川 博雄

B (論 文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. FACTORS OF PARTICLE EXPRESSION THAT AFFECT LISTENERS' PERCEPTION OF CLEFT PALATE SPEECH	共著	2015年12月	Aichi - Gakuin Dental Science. 28巻	Aihara Yoshiko, Hayakawa Toko, Ono Maya, Matsukawa Ryohei, Sakuma Chisato, Morita Yumiko, Inoue Chisako, Banno Kyoko, Makino Hiyori, Saito Naoki, Imura Hideto, Aso Masakuni, Akiyama Yoshio, Furukawa Hiroo, Niimi Teruyuki, Katayama Kazuo, Chino Naohito, Natsume Nagato	pp.45 - 54
2. 誤嚥性肺炎における嚥下造影検査の定 量的・定性的解析	共著	2016年3月	心身科学. 8巻1号	野村麻優子, 牧野日和, 町田祐子, 田中誠也, 高津 淳, 古川博雄, 早川統子, 辰巳 寛, 山本正彦	pp.27 - 41
3. 認知症と日常生活動作の自発性および 舌苔との関連(第二報) 姿勢運動との関 連調査報告	共著	2016年3月	日本口腔ケア学会雑誌. 10巻1号	牧野日和, 井村英人, 早川統子, 古川博雄, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 相原喜子, 山本正彦, 夏目長門	pp.123 - 127
4. 顎裂内に脂肪腫を認めた1例	共著	2016年4月	日本口蓋裂学会雑誌. 41巻1号	井村英人, 古川博雄, 久保勝俊, 新美照幸, 早川統子, 佐久間千里, 前田初彦, 夏目長門	pp.51 - 55
5. 粘膜下口蓋裂に関する臨床的検討	共著	2016年6月	愛知学院大学歯学会誌. 54巻2号	井村英人, 夏目長門, 新美照幸, 古川博雄, 南 克浩, 鈴木 聡, 大野磨弥, 森 明弘, 中原晋一, 早川統子, 佐久間千里, 山内楓子, 江尻晃啓, 栗田賢一	pp.65 - 69

6. 22q11.2欠失症候群 (Velo-Cardio-Facial 症候群) 患者の合併症・言語症状に関する報告	共著	2016年7月	愛知学院大学歯学会誌, 54巻2号	早川統子, 山内楓子, 井村英人, 森 明弘, 佐久間千里, 大野磨弥, 藤原久美子, 山本正彦, 古川博雄, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 牧野日和, 鈴木 聡, 新美照幸, 南 克浩, 夏目長門	pp.71-77
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 片側性口唇裂の初期治療における工夫	学会発表	2015年11月	第27回(一社)日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 宮崎	夏目長門, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 早川統子, 鈴木 聡, 大野磨弥	
2. 口腔先天異常疾患に起因する言語障害に対する遠隔言語訓練の効果	学会発表	2015年11月	第27回(一社)日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 宮崎	早川統子, 山内楓子, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 夏目長門	
3. 小児口腔疾患患者の新たな言語訓練方法 母親の満足・期待に関する調査結果	学会発表	2015年11月	第27回(一社)日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 宮崎	早川統子, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 夏目長門	
4. VCFS 患者における永久歯の先天性欠如実態調査	学会発表	2015年11月	第32回日本障害者歯科学会総会および学術集会, 名古屋	森 明弘, 井村英人, 早川統子, 新美照幸, 古川博雄, 外山佳孝, 松川良平, 大野磨弥, 佐久間千里, 夏目長門	
5. Van der Woude 症候群における先天性欠如歯の実態調査	学会発表	2015年11月	第32回日本障害者歯科学会総会および学術集会, 名古屋	松川良平, 大野磨弥, 新美照幸, 井村英人, 鈴木 聡, 森 明弘, 古川博雄, 外山佳孝, 石川拓, 夏目長門	
6. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究(10報) 呼気鼻漏出による子音の歪みにおける音声印象	学会発表	2015年12月	愛知学院大学歯学会・第87回学術大会, 名古屋	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 坂野恭子, 牧野日和, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 千野直仁, 夏目長門	
7. ベトナム・ベンチェ省における口唇・口蓋裂発生率の年次推移 1993年~2013年	学会発表	2015年12月	愛知学院大学歯学会・第87回学術大会, 名古屋	新美照幸, 井村英人, 南 克浩, 古川博雄, 鈴木 聡, 大野磨弥, 佐久間千里, 山内楓子, 夏目長門	
8. 私の片側性口唇裂治療	学会発表	2015年12月	第49回日本小児外科学会東海地方会・第45回日本小児外科学会北陸地方会, 静岡	夏目長門, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 早川統子, 鈴木 聡, 大野磨弥	
9. 口腔先天異常疾患に起因する言語障害に対する遠隔言語訓練の効果	学会発表	2015年12月	第49回日本小児外科学会東海地方会・第45回日本小児外科学会北陸地方会, 静岡	早川統子, 井上知佐子, 相原喜子, 山内楓子, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 山本正彦, 夏目長門	
10. 小児口腔疾患患者の新たな言語訓練方法 母親の満足・期待に関する調査結果	学会発表	2015年12月	第49回日本小児外科学会東海地方会・第45回日本小児外科学会北陸地方会, 静岡	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 夏目長門	

11. 我々の初回口唇裂手術 片側裂・両側裂の共通点・相違点を中心として	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	夏目長門, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 大野磨弥, 森 明弘, 佐久間千里
12. 未手術粘膜下口蓋裂症例の臨床的研究 (第4報) 言語訓練について	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	早川統子, 森 智子, 井村英人, 井上知佐子, 相原喜子, 坂野恭子, 大野磨弥, 佐久間千里, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門
13. モンゴル国における医療協力と学術調査報告 (第4報) 2015年度報告	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	夏目長門, 夏目長奈, 吉田和加, 永田咲里佳, 佐久間千里, 大野磨弥, 森 明弘, 山内楓子, 古川博雄, 鈴木 聡, 新美照幸, 南 克浩, 中原晋一, 井村英人, 八木真里奈, 早川統子
14. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 (第11報) 声門破裂音における終助詞表現の発話者印象への影響	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 坂野恭子, 牧野日和, 佐久間千里, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門
15. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 (第12報) 呼吸鼻漏出による子音の歪みと声門破裂音の比較	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 坂野恭子, 牧野日和, 佐久間千里, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門
16. Van der Woude 症候群に関する基礎的臨床的研究 (第5報) 先天性欠如歯に関して	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	大野磨弥, 新美照幸, 松川良平, 古川博雄, 南 克浩, 井村英人, 早川統子, 森 明弘, 佐久間千里, 夏目長門
17. 口唇・口蓋裂患者に関する疫学的研究 (第59報) 東海地区における2014年の先天異常中の口唇口蓋裂の発現比率	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	井村英人, 佐久間千里, 吉田和加, 鈴木 聡, 古川博雄, 南 克浩, 新美照幸, 森 明弘, 大野磨弥, 山内楓子, 夏目長門
18. 非症候性口蓋裂患者における MEOX2 遺伝子解析	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	森 明弘, 井村英人, 鈴木 聡, 大野磨弥, 佐久間千里, Tran Le Duy, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 駒田致和, 池田やよい, 夏目長門
19. 口唇口蓋裂患者とその家族に対する遺伝カウンセリングの現状 (第6報) 2015年度成果報告	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	大野磨弥, 井村英人, 古川博雄, 南 克浩, 新美照幸, 藤原久美子, 夏目長門
20. 愛知学院大学歯学部附属病院口唇口蓋裂センターにおける口唇口蓋裂出生前カウンセリングについて	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	井村英人, 夏目長門, 鈴木 聡, 大野磨弥, 佐久間千里, 山内楓子, 南 克浩, 新美照幸, 古川博雄
21. エチオピア連邦民主共和国における先天異常に関する研究 (第2報)	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	古川博雄, 井村英人, 大野磨弥, 山内楓子, 夏目長門

22. Investigation of congenital anomaly monitoring in the Tokai region in 2013	学会発表	2016年7月	第56回日本先天異常学会学術集会, 姫路	Imura H, Natsume N, Suzuki S, Hayakawa T, Sakuma C, Ono M, Mori A, Yamauchi F, <u>Furukawa H</u> , Nakahara S, Niimi T, Yoshida W, Fujiwara K	
23. Speech therapy for individuals with VCFS: 8th report	学会発表	2016年7月	第56回日本先天異常学会学術集会, 姫路	Hayakawa T, Inoue C, Mori T, Aihara Y, Banno K, Makino H, Yamamoto M, Suzuki S, Mori A, Imura H, Ono M, Yamauchi F, Minami K., Niimi T, <u>Furukawa H</u> , Ejiri, Nakahara S, Natsume N	
24. 歯科医師と言語聴覚士のチームアプローチによる口腔疾患患者の新たな治療戦略	講演会	2016年7月	愛知学院大学歯学会 石川県地方学術講演会	古川博雄	
25. 基底細胞母斑症候群の臨床的観察(第1報) 家族内の表現型について	学会発表	2016年9月	第33回日本障害者歯科学会総会および学術集会, 埼玉	佐久間千里, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 夏目長門	

## 牧野日和

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第8回	単著	2015年11月	中央法規出版, おはよう21 1月号 2016		pp.6-7
2.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第9回	単著	2015年12月	中央法規出版, おはよう21 2月号 2016		pp.6-7
3.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第10回	単著	2016年1月	中央法規出版, おはよう21 3月号 2016		pp.6-7
4.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第11回	単著	2016年2月	中央法規出版, おはよう21 4月号 2016		pp.6-7
5.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第12回	単著	2016年3月	中央法規出版, おはよう21 5月号 2016		pp.6-7
6.介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第1回 食支援における介護職の役割	単著	2016年4月	中央法規出版, おはよう21 6月号 2016		pp.68-71

7.介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第2回 食べる支援に欠かせない基本的な心得① 食べる支援の考え方	単著	2016年5月	中央法規出版,おはよう21 7月号 2016		pp.70-73
8.介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第3回 食べる支援に欠かせない基本的な心得② 食べるメカニズムを理解する	単著	2016年6月	中央法規出版,おはよう21 8月号 2016		pp.60-63
9.介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第4回 食べる支援に欠かせない基本的な心得③ 「食べるメカニズム」のとりえ方	単著	2016年7月	中央法規出版,おはよう21 9月号 2016		pp.62-65
10.介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第5回 食べる支援を成功させる具体的手法① 意識(覚醒)する	単著	2016年8月	中央法規出版,おはよう21 10月号 2016		pp.60-63
11.介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第6回 食べる支援を成功させる具体的手法② 注意する	単著	2016年9月	中央法規出版,おはよう21 11月号 2016		pp.58-61
B (論文)					
著書,論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所,発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.口から食べる支援 お食い縮めの観点から	単著	2016年4月	「訪問リハビリテーション」6巻1号		pp.17-23
2.22q11.2欠失症候群(Velo-Cardio-Facial 症候群)患者の合併症・言語症状に関する報告	共著	2016年6月	愛知学院大学歯学会誌,54巻2号	早川統子,山内楓子,井村英人,森 明弘,佐久間知里,大野磨弥,藤原久美子,山本正彦,古川博雄,井上知佐子,森 智子,相原喜子,牧野日和,鈴木 聡,新美照幸,南 克浩,夏目長門	pp.71-77
3.終末期における食支援のポイント 食支援	単著	2016年8月	「看護技術」62巻10号		pp.38-41
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称,開催地	発表者	
1.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2015年10月	全国高齢者施設看護師会,神戸	牧野日和	
2.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年10月	全国高齢者施設看護師会,金沢	牧野日和	
3.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年11月	全国高齢者施設看護師会,大阪	牧野日和	
4.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年11月	全国高齢者施設看護師会,東京	牧野日和	
5.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年11月	全国高齢者施設看護師会,広島	牧野日和	
6.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年11月	全国高齢者施設看護師会,大阪	牧野日和	
7.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2015年11月	全国高齢者施設看護師会,名古屋	牧野日和	
8.この子らを世の光に(障害児から学ぶもの)	講演	2015年11月	全国高齢者施設看護師会,札幌	牧野日和	
9.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2015年11月	全国高齢者施設看護師会,札幌	牧野日和	
10.ライフサイクルでみる摂食嚥下障害者への支援	講演	2015年11月	日本語聴覚士協会 全国研修会,札幌	牧野日和	
11.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2015年12月	全国高齢者施設看護師会,旭川	牧野日和	
12.職種間連携	講演	2016年1月	日本語聴覚士協会・ 基礎講座4,東京	牧野日和	

13.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年1月	全国高齢者施設看護師会, 沖縄	牧野日和	
14.お食い締め「人生最期の食事を支えるアプローチ」	講演	2016年1月	全国高齢者施設看護師会, 茨城	牧野日和	
15.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年1月	全国高齢者施設看護師会, 鹿児島	牧野日和	
16.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年2月	株式会社ふくなお, 京都	牧野日和	
17.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年2月	株式会社ふくなお, 岩手	牧野日和	
18.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年2月	株式会社ふくなお, 仙台	牧野日和	
19.お食い締め「人生最期の食事を支えるアプローチ」	講演	2016年2月	全国高齢者施設看護師会, 福岡	牧野日和	
20.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年2月	全国高齢者施設看護師会, 仙台	牧野日和	
21.最期まで口から食べる支援	講演	2016年2月	今治明德短期大学 文科省事業「地(知)の拠点事業」, 愛媛	牧野日和	
22.お食い締め「人生最期の食事を支えるアプローチ」	講演	2016年2月	全国高齢者施設看護師会, 名古屋	牧野日和	
23.お食い締め 最期は家族のために	講演	2016年3月	在宅の多職種チーム医療とケアを考える会, 東京	牧野日和	
24.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年3月	全国高齢者施設看護師会, 青森	牧野日和	
25.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年3月	武豊町社会福祉協議会, 愛知	牧野日和	
26.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年3月	株式会社ふくなお, 岐阜	牧野日和	
27.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年3月	全国高齢者施設看護師会, 大阪	牧野日和	
28.影を愛する生涯ケア(死に意味を与えるために)	講演	2016年3月	西宮福祉用具体験会, 兵庫	牧野日和	
29.最期まで口から食べるためのコツ	講演	2016年3月	福岡県老人施設協議会, 福岡	牧野日和	
30.お食い締め「人生最期の食事を支えるアプローチ」	講演	2016年4月	全国高齢者施設看護師会, 広島	牧野日和	
31.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年4月	全国高齢者施設看護師会, 愛媛	牧野日和	
32.言語聴覚士による口腔ケア	ワークショップ	2016年4月	日本口腔ケア学会, 千葉	牧野日和	
33.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年5月	全国高齢者施設看護師会, 名古屋	牧野日和	
34.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年5月	全国高齢者施設看護師会, 函館	牧野日和	
35.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年5月	全国高齢者施設看護師会, 札幌	牧野日和	
36.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年5月	全国高齢者施設看護師会, 沖縄	牧野日和	
37.お食い締め「人生最期の食事を支えるアプローチ」	講演	2016年5月	全国高齢者施設看護師会, 横浜	牧野日和	
38.遠隔言語訓練による 口蓋裂言語への言語訓練第6報 -ビデオ通話アプリを用いた訓練実施を通して-	学会発表	2016年5月	第40回日本口蓋裂学会 学術集会(大阪)	早川統子, 山内楓子, 井上知佐子, 相原喜子, 井村英人, 南 克浩, 牧野日和, 夏目長門	

39.多種のビデオ通話アプリを試用した口蓋裂言語に対する遠隔言語訓練	学会発表	2016年5月	第17回 日本言語当確学会(京都)	早川統子, 牧野日和, 井上知佐子, 相原喜子, 山内楓子, 山本正彦, 夏目長門	
40.摂食嚥下障害領域の言語聴覚療法の開発に関する研究 - 言語聴覚士による口腔ケアの実情 アンケート調査結果報告 -	学会発表	2016年6月	第17回日本言語聴覚士協会 学術集会, 京都	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳 寛, 山本正彦	
41.職種間連携	講演	2016年6月	日本言語聴覚士協会・基礎講座4, 京都	牧野日和	
42.地域における最期まで食べる支援がもたらせるもの - お食い締め支援の効果 -	ランチョンセミナー	2016年6月	第8回日本訪問リハビリテーション学会, 東京	牧野日和	
43.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年6月	全国高齢者施設看護学会, 東京	牧野日和	
44.お食い締め-最期まで口から食べる支援がもたらせるもの-	講演	2016年6月	第8回九州・山口三ツ星セミナー, 小倉	牧野日和	
45.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年6月	全国高齢者施設看護学会, 福岡	牧野日和	
46.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年7月	全国高齢者施設看護学会, 大阪	牧野日和	
47.口腔先天異常を伴う患者への遠隔言語訓練 - 複数のビデオ通話アプリを用いた訓練実施を通して -	学会発表	2016年7月	第56回日本先天異常学会(姫路)	早川統子, 山内楓子, 井上知佐子, 相原喜子, 森 智子, 井村英人, 佐久間千里, 大野磨弥, 森 明弘, 山本正彦, 古川博雄, 牧野日和, 新美照幸, 南 克浩, 夏目長門	
48.明日使える食のメカニズム	講演	2016年7月	西宮福祉用具体験会, 兵庫	牧野日和	
49.口から食べる事は何故大切なのか? お食い締めから考える	講演	2016年7月	西宮福祉用具体験会, 兵庫	牧野日和	
50.お食い締め	シンポジウム	2016年7月	全国介護福祉総合フェスティバル, 大阪	牧野日和	
51.最期まで食べるケア-お食い締めの観点から-	講演	2016年7月	株式会社 gene, 兵庫	牧野日和	
52.最期まで食べるケア-お食い締めの観点から-	講演	2016年7月	株式会社 gene, 兵庫	牧野日和	
53.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年7月	株式会社ふくなお, 広島	牧野日和	
54.「むせこみ」・「口を開けない」~“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年7月	全国高齢者施設看護学会, 岡山	牧野日和	
55.お食い締め「人生最期の食事を支えるアプローチ」	講演	2016年7月	全国高齢者施設看護学会, 京都	牧野日和	
56.お食い締め「看取り期における食支援セミナー」	講演	2016年7月	島根県医療介護総合確保促進基金事業, 島根	牧野日和	
57.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年7月	株式会社ふくなお, 岩手	牧野日和	
58.食べる喜びを支える会「お食い締めセミナー」	講演	2016年8月	牛久市歯科医師会, 茨城	牧野日和	
59.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年8月	全国高齢者施設看護学会, 青森	牧野日和	
60.終末期に「口から食べる」支援を考える	講演	2016年8月	広島県介護支援専門員協会, 広島	牧野日和	

61.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年8月	全国高齢者施設看護師会, 愛媛	牧野日和	
62.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年8月	全国高齢者施設看護師会, 横浜	牧野日和	
63.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年8月	株式会社ふくなお, 金沢	牧野日和	
64.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年8月	株式会社ふくなお, 名古屋	牧野日和	
65.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年8月	株式会社ふくなお, 静岡浜松	牧野日和	
66.口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年8月	株式会社ふくなお, 静岡三島	牧野日和	
67.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年9月	全国高齢者施設看護師会, 大阪	牧野日和	
68.摂食嚥下リハビリテーションの評価の流れ	講演	2016年9月	愛知県言語聴覚士会, 名古屋	牧野日和	
69.口から食べるを支える食事ケア	講演	2016年9月	高知県食と栄養の会, 高知	牧野日和	
70.お食い締め「人生最期の食事を支えるアプローチ」	講演	2016年9月	全国高齢者施設看護師会, 札幌	牧野日和	
71.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年9月	全国高齢者施設看護師会, 札幌	牧野日和	
72.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年9月	全国高齢者施設看護師会, 釧路	牧野日和	
73.最期まで食べる「食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助」	講演	2016年9月	全国高齢者施設看護師会, 仙台	牧野日和	
74.訪問診療におけるリハビリテーション栄養の効果に関する研究	学会発表	2016年9月	第11回日本歯科衛生士学会, 広島	榊井悦子, 野村高司, 木村淳一, 川端浩一, 森川正章, 牧野日和	
75.食形態と食機能の対応と最期まで食べる支援の実際	講演	2016年9月	下越病院, 新潟	牧野日和	
76.お食い締め「人生最期の食事を支えるアプローチ」	講演	2016年9月	全国高齢者施設看護師会, 愛媛	牧野日和	

## 山本正彦

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.Characteristic laryngoscopic findings in Parkinson's disease patients after subthalamic nucleus deep brain stimulation and its correlation with voice disorder.	共著	2015年12月	J Neural Transm. 122(12)	Tsuboi T, Watanabe H, Tanaka Y, Ohdake R, Yoneyama N, Hara K, Ito M, Hirayama M, Yamamoto M, Fujimoto Y, Kajita Y, Wakabayashi T, Sobue G	pp.1663-72
2.SBMA における構音障害の臨床的特徴 (Clinical characteristics of dysarthria in SBMA)	共著	2015年12月	臨床神経学. 55巻 Suppl.	田中誠也, 坂野晴彦, 勝野雅央, 鈴木啓介, 橋詰 淳, 土方靖浩, 山田晋一郎, 山本正彦, 祖父江元	p.S377



3.Relationships among Communication Self – Efficacy, Communication Burden, and the Mental Health of the Families of Persons with Aphasia.	共著	2016年1月	J Stroke Cerebrovasc Dis.25(1)	Tatsumi H, Nakaaki S, Satoh M, <u>Yamamoto M</u> , Chino N, Hadano K	pp.197 – 205
4.Head Lift Exercise Improves Swallowing Dysfunction in Spinal and Bulbar Muscular Atrophy.	共著	2016年1月	Eur Neurol.74 (5 – 6)	Mano T, Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Suga N, Hashizume A, Araki A, Hijikata Y, Tanaka S, Takatsu J, Watanabe H, <u>Yamamoto M</u> , Sobue G	pp.251 – 8
5.舌癌周術期における構音障害に対するリハビリテーション効果.	共著	2016年1月	音声言語医学. 57巻1号	高津 淳, 田中康博, 田中誠也, 長谷川泰久, <u>山本正彦</u>	p.102
6.視床下核脳深部刺激術後のパーキンソン病患者における構音動態.	共著	2016年1月	音声言語医学. 57巻1号	田中康博, 坪井 崇, 渡辺宏久, 梶田泰一, 藤本保志, 大嶽れい子, 榊田道人, 今井和憲, 伊藤瑞規, 原 一洋, <u>山本正彦</u> , 勝野雅央, 祖父江元	p.78
7.失語性呼称障害に対する PACE の応用的導入に関する基礎的研究.	共著	2016年3月	心身科学. 8巻1号	木村 航(愛知学院大学 大学院心身科学研究科), 辰巳 寛, <u>山本正彦</u>	pp.103 – 5
8.誤嚥性肺炎における嚥下造影検査の定量的・定性的解析.	共著	2016年3月	心身科学. 8巻1号	野村麻優子, 牧野日和, 町田祐子, 田中誠也, 高津 淳, 古川博雄, 早川統子, 辰巳 寛, <u>山本正彦</u>	pp.27 – 41
9.認知症と日常生活動作の自発性および舌苔との関連(第二報) 姿勢運動との関連調査報告.	共著	2016年3月	日本口腔ケア学会雑誌. 10巻1号	牧野日和, 井村英人, 早川統子, 古川博雄, 年盛満恵, 瀬戸千尋, 相原喜子, <u>山本正彦</u> , 夏目長門	pp.123 – 7
10.口腔先天異常疾患に起因する言語障害に対する遠隔言語訓練の効果.	共著	2016年4月	日本小児外科学会雑誌. 52巻2号	早川統子, 井上知佐子, 相原喜子, 山内楓子, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, <u>山本正彦</u> , 夏目長門	p.299
11.舌癌周術期における構音障害の経時的変化に対する音響学的検討.	共著	2016年4月	頭頸部癌. 42巻1号	高津 淳, 花井信広, 鈴木秀典, 西川大輔, 福田裕次郎, <u>山本正彦</u> , 長谷川泰久	pp.21 – 7

12.22q11.2欠失症候群 (Velo - Cardio - Facial 症候群) 患者の合併症・言語症状に関する報告.	共著	2016年6月	愛知学院大学歯学会誌. 54巻2号	早川統子, 山内楓子, 井村英人, 森 明弘, 佐久間千里, 大野磨弥, 藤原久美子, 山本正彦, 古川博雄, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 牧野日和, 鈴木 聡, 新美照幸, 南 克浩, 夏目長門	pp.71 - 7
13.Impaired muscle uptake of creatine in spinal and bulbar muscular atrophy.	共著	2016年6月	Ann Clin Transl Neurol. 3 ( 7 )	Hijkata Y, Katsuno M, Suzuki K, Hashizume A, Araki A, Yamada S, Inagaki T, Iida M, Noda S, Nakanishi H, Banno H, Mano T, Hirakawa A, Adachi H, Watanabe H, Yamamoto M, Sobue G	pp.537 - 46
14. 失語症候群の診断と治療.	共著	2016年9月	神経治療学. 33巻3号	辰巳 寛, 山本正彦	pp.362 - 7
15. メディカル・スタッフのための失語症の理解度評価尺度 Aphasia Knowledge Test - 20の開発	共著		総合リハビリテーション	辰巳 寛, 山本正彦	印刷中
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 特別講演「遺伝カウンセリングの現状と将来」	学会発表	2015年11月	第32回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 名古屋	山本正彦	
2. マラソンレクチャー「失語症候群の診断と治療」	学会発表	2015年11月	第33回日本神経治療学会総会, 名古屋	辰巳 寛, 山本正彦	
3. 多種のビデオ通話アプリを試用した口蓋裂言語に対する遠隔言語訓練	学会発表	2016年6月	第17回日本言語聴覚学会, 京都	早川統子, 牧野日和, 井上知佐子, 相原喜子, 山内楓子, 山本正彦, 夏目長門	
4. 摂食嚥下障害領域の言語聴覚療法の開発に関する研究 - 言語聴覚士による口腔ケアの実情 アンケート調査結果報告 -	学会発表	2016年6月	第17回日本言語聴覚学会, 京都	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳 寛, 山本正彦	
5. 口腔先天異常を伴う患者への遠隔言語訓練 - 複数のビデオ通話アプリを用いた訓練実施を通して -	学会発表	2016年7月	第56回日本先天異常学会, 姫路	早川統子, 山内楓子, 井上知佐子, 相原喜子, 森 智子, 井村英人, 佐久間千里, 大野磨弥, 森 明弘, 山本正彦, 古川博雄, 牧野日和, 新美照幸, 南 克浩, 夏目長門	
6. シンポジウム「音響分析は臨床に必要なだ - Yes の立場で -」	学会発表	2016年9月	第3回日本ディサースリア学術集会, 赤穂	田中誠也, 山本正彦	
7. 髄膜腫および術後後遺症による多彩な顔面症状にリハアプローチが奏功した一例	学会発表	2016年9月	第3回日本ディサースリア学術集会, 赤穂	田中誠也, 横井 孝, 窪 浩治, 高見修治, 山本正彦	

**渡辺輝也**

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.コーチングにおける理論と実践の対立とその解消	単著	2016年5月	現代スポーツ評論. 34号		pp.105-114
2.初心者を対象とした卓球におけるフォアハンドドライブの新しい段階的指導法の開発	共著	2016年8月	スポーツパフォーマンス研究. 8号	小木智映子・渡辺輝也	pp.284-301